

平成 2 5 年 度
事 業 報 告 書

自 平成 2 5 年 4 月 1 日

至 平成 2 6 年 3 月 3 1 日

公益財団法人 日本サイクリング協会

実施事業の状況

今日、サイクリングは、国民のスポーツ志向、健康志向及び地球温暖化に伴う環境保全の意識の変化により、人と環境に優しい自転車利用の関心の高まりを受けて、大きなブームを迎えている。

また日常生活でも自転車利用者が増加の傾向にあり、全国各地で自転車に優しい街づくりが進められるようになった他、観光施策としてサイクリングを取り入れる地方自治体も多くなった。

本会はこのような状況を背景に、全国の都道府県サイクリング協会の協力のもと『快適なサイクリングを通じて、健康を増進し、自転車に関連する交通事故を未然に防止するためのルール・マナーの遵守、正しい乗車姿勢と適切な整備を身につけること』を「楽しいサイクリング・正しいサイクリング」と表現し、このコンセプトを基調に自転車愛好者とともに積極的に活動を展開している。

平成25年度は、昨年度に引き続き自転車利用者の増加に伴い自転車に関する事故が増加している問題に対し、本会賛助会員にはサイクリストの模範となるよう、入会時に「JCAサイクリスト誓言」の誓約、「自転車利用安全五則」の遵守を行っていただくとともに、各事業において「正しいサイクリング」のコンセプトを当該事業に応じた様々な形で反映させ実施した。

また、本協会が目指すサイクリングの健全な普及発達を促進するため、各関係機関のご協力の下、(公財)JKAからの補助金及び、(一社)自転車協会からの助成金を得て事業を実施した。

なお、財団運営の基本事項を審議するため、理事会を6回及び評議員会を2回開催した。

◎公益事業振興事業 I (競輪補助事業)

1. 指導者の育成等事業

現在の自転車ブームの中にあって、自転車を取り巻く社会のニーズに応え、「正しいサイクリング」の普及を实践する指導者の資質の向上、平準化を図るため、全国のサイクリング協会7ブロック毎に指導者管理委員会を設置し、サイクリング・リーダー養成講習会を各都道府県サイクリング協会と連携して1道2県協会・3会場で開催し、98名の指導者を養成した。

平成25年度末現在の登録指導者数は1,159名となった。

(講習会の開催日程、場所、参加者数等は別表1のとおり)

2. サイクリング大会等の開催事業

安全・安心なサイクリング大会を全国規模で提供することによりサイクリング愛好者の拡大を図るため、サイクリング公認指導者を擁する各都道府県サイクリング協会と連携し、全国サイクリング大会1回、ブロックサイクリング大会5回、県サ

イクリング及びサイクルスポーツ大会14回を実施し、参加者にその楽しさを実感して貰うとともに、開催地周辺の人々との交流を通じて全国の一般市民にもサイクリングへの関心を高め、マスコミに対してもサイクリングが注目を集めるよう普及啓発に努めた。

なお、全国大会は、前日の9月15日(土)に大型台風第18号が関東地方に接近、屋内での開会式等の式典は開催したが、翌16日は台風の通過によりサイクリング大会は中止となった。

(各大会の開催日程、場所、参加者数等は別表2のとおり)

3. 特別普及奨励事業

増加する自転車愛好者の様々なニーズに応じるとともに地域振興策としてのサイクリングイベントの模範、基盤となるよう、地方自治体等と協働し、①蔵王ヒルクライム大会(日本の蔵王ヒルクライム・エコ2013)、②シティサイクリング大会(東京シティサイクリング2013)、③Mt. FUJIエコサイクリング大会(2013Mt. FUJIエコサイクリング)、④耐久自転車競技大会(2013全日本10時間耐久サイクリング in つくば)を開催し、地域に根ざしたサイクリングの普及を図るとともに、広域に亘るサイクリング愛好者の参加を得ることにより、地域活性化を促進した。

(各大会の開催日程、場所、参加者数等は別表3のとおり)

4. 神宮外苑サイクリングコース運営事業

都心の中心地である神宮外苑の周回コースを毎日曜・祝祭日(年間53回)に自動車の交通規制を実施して、自転車を無料で貸出し、サイクリングを楽しんで貰うとともに、児童・幼児等を中心に、乗り方教室を開催し、サイクリングの普及啓発に努めた。

また、四谷警察署と共催して春と秋の交通安全自転車教室の開催、地元商店会と連携した自転車関連催事の実施等、自転車に関する情報発信の拠点となるよう啓発活動を行った。

(月別の開場回数、利用者数等は別表4のとおり)

◎公益事業振興事業 II (競輪補助事業)

1. 自転車乗用に関する調査研究事業

サイクリングを中心とした自転車乗用環境改善を目的とし、サイクリングを積極的に観光施策に取り入れている地方自治体等に対し、調査研究の結果による提言が具現化されるよう、平成25年度は、「地域活性化に資するサイクリングイベントの調査研究」と題して、全国のサイクリングイベント状況を調査し、国内外のサイクリングイベント、ツアーの先進事例の紹介等を報告書にまとめ、300部を作成し、観光庁他、地方自治体の観光施策に係る部署を中心として関係機関に配布した。

2. 自転車に関する広報事業

自転車乗用人口の拡大を図るとともに、「楽しいサイクリング・正しいサイクリング」を広く普及するため、情報誌「サイクリングジャパン」を年4回編集・発行し、サイクリングに関する様々な知識、情報や各種大会の案内・紹介をする他、国内自転車メーカー、部品メーカー等の自転車に関する情報を提供した。

併せて、インターネットによる広報活動を行い、本協会の事業の普及を図るとともに、賛助会員の拡大に努めた。

(サイクリングジャパン各号の発行状況は別表5のとおり)

◎自主推進事業

1. ブロック別会議の開催事業

全国7ブロックに所属する各都道府県サイクリング協会の代表者と次年度の事業計画の審議、事業運営の改善のための意見交換、各種情報交換等を行うため、概ね平成26年2月中にブロック別に会議を開催した。

(ブロック別会議の開催状況は別表6のとおり)

2. 無料法律相談の開設

本協会に顧問弁護士を置き、賛助会員のサイクリングの諸活動、日常生活において生じるトラブルの法律的事案に関し、無料の相談室を開設した。

3. 指導者登録証作成交付事業

本協会が認定したサイクリング・リーダーの新規登録者及びサイクリング・インストラクターの登録更新者並びにサイクリングディレクター(1級・2級)の登録更新者に係る登録・更新を行うとともに、それらの者に対して登録証を発行した。

4. サイクリングツアー啓発のための基盤整備事業

地域観光にサイクリングを取り入れ、初心者から上級者までが、安全に安心して参加できるサイクリングツアーの企画を旅行会社が推進できるよう、情報提供、自転車メンテナンス、走行管理、レスキュー体制、保険制度の充実等、スムーズな運営を確保するための基盤整備を推進した。

5. サイクリング普及推進事業

地域振興の一方策としてサイクリングやサイクルスポーツ大会に対する関心が高まる中、各都道府県サイクリング協会が中心となって実施する計画事案に積極的に助言、指導を行った他、実施大会の参加者募集及び設営、受付等の開催業務を支援するとともに、適切な助成を行った。

6. 交通安全推進事業（自転車安全乗用教室等への講師派遣）

国や小学校等の要請により、自転車の乗り方や自転車の交通安全等について普及啓発するため自転車安全乗用講習会、教室等に講師を派遣した。

・港区立神応小学校 依頼

ア) 日 時 平成25年6月6日（木）

イ) 講習場所 神応小学校校庭

ウ) 内 容 自転車安全乗用教室

エ) 受講者 3年生13名、保護者5名

7. 耐久サイクリング in 袖ヶ浦大会の開催事業

サイクリング普及推進事業の成果として、地元から要請のあった袖ヶ浦サーキットにおいて、本協会の長年に亘って蓄積されたサイクルスポーツイベント開催のノウハウを投入し、サイクルレースのビギナーからベテランまでを対象にし、平成25年11月2日（土）に参加者数155チーム・295名を集め、7時間耐久サイクリング大会を開催した。

8. 賛助会員拡大推進事業

現在稼働中の賛助会員管理システムの基盤設備をより強化することにより機能を有効に活用し、賛助会員の個人や法人単位以外に新たに団体等の賛助会員の入会対象を広げ、更なる賛助会員の拡大に努めた。

◎協力事業

1. 運営強化協力事業

(1) サイクリングターミナル関係事業

全国のサイクリングターミナルとの連携を保つため、全国サイクリングターミナル協議会を組織して本協会に事務局を置き、共同PRを推進するとともに、各ターミナルの共通する諸問題及び更なる利用促進を図るため、平成25年7月4日（木）に宮崎県綾町サイクリングターミナルにおいて総会を開催し、宮崎県綾町長による「地域資源を生かした街づくり」の講演の他、今後におけるサイクリングターミナルの諸事業を協議するとともに情報交換を行った。

(2) サイクリングイベント関係事業

ア 大会運営関係

本会が募集を行い、実行委員会に人材を派遣して行う「全日本マウンテンサイクリング in 乗鞍大会」、「美ヶ原高原自転車レース大会」、及び実行委員会に本会職員を派遣する「時空の路ヒルクライム in 会津」の各大会運営において、企画立案、財政面及び開催に対する技術面についての助言を行うなど運営全般に関わる指導を行った。

（各大会の開催状況は別表7のとおり）

イ JCA全日本ヒルクライムシリーズ運営事業

本会が募集を行い、実行委員会に人材を派遣して運営主導する「日本の蔵王ヒルクライム・エコ大会」、「全日本マウンテンサイクリング in 乗鞍大会」、「美ヶ原高原自転車レース大会」の3大会に、秋田県由利本荘市矢島町が主催する「矢島カップ・Mt鳥海バイシクルクラシック大会」を加えた4大会のうち3大会に参加した者をクラスごとに順位付けし、チャンピオンとなった男女各1名を11月に台湾で開催される世界1難易度の高い「タロコヒルクライム大会」に招待する事業を「JCA全日本ヒルクライムシリーズ」として運営した。

2. その他の事業

自転車に関連する交通安全対策を審議する(一財)全日本交通安全協会主催の「自転車安全教育推進委員会」に委員として出席するとともに、同会主催の「全国子供自転車大会」の開催に協力した。

観光とサイクリングに関する情報収集のため、(一社)日本スポーツツーリズム推進機構の会員となり、委員会、シンポジウム等に参加した。

公益法人制度改革に対応するため、平成24年5月に「JCA公益法人化推進委員会」を設置して、公認申請のための策定作業を行った結果、平成25年4月1日付けで移行認定するとの内示を内閣府から受けた。

また、サイクリングイベントに関する後援、協力など本協会の名義使用の依頼については、提出の申請書類を審査の上、文書をもって名義の使用許諾を行った。

◎会議関係

財団運営の基本事項を策定するため、理事会、評議員会を開催した。

(各会議の開催状況は別表8のとおり)

別表 1 サイクリング・リーダー養成講習会開催状況表

協会名	実施日	実施場所	養成人員
大阪	平成25年 9月22日	大阪市	18名
千葉県	平成26年 1月25日	千葉市	62名
北海道	平成26年 3月 8日～9日	札幌市	18名
合計			98名

別表 2 サイクリング大会の開催

○全国サイクリング大会

	協会名	実施日	実施場所	参加人員
-	千葉県	平成25年 9月15～16日	館山市周辺	291名 (申込1,000名)

○ブロックサイクリング大会

主管CA	大会名称	参加人員	開催日
山形県CA	第49回東北サイクリングフェスティバル IN 山形	181	9/14～15
静岡県CA	第45回中部日本サイクリング大会	300	5/25-26
滋賀県CA	第39回近畿サイクリングフェスティバル	77	9/28～29
山口県CA	第38回中国四国ブロック サイクリング山口県大会 in 下関	177	9/29～30
熊本県CA	第46回全九州サイクリング大会	202	11/9～10
合計	5大会	937	

※北海道ブロックの第51回全道サイクリング大会in遠軽は、補助対象外事業として開催した。

○県サイクリング大会

主管CA	大会名称	参加人員	開催日
釧路CA	2013 サイクルススポーツ大会	113	10月13日
網走CA	2013 ホーツクセンチュリーライド網走大会	100	6月23日
福島県CA	第46回福島県サイクルスポーツ大会	110	10月6日
新潟県CA	2013 変り種自転車試乗会 in 柏崎	100	6月2日
埼玉県CA	センチュリーラン埼玉	100	5月19日
三重県CA	第32回三重県サイクリング大会 in 桑名	28	9月8日
御坊市CA	第40回おはようサイクリング大会	400	8月17-21日
岡山県CA	ひるぜんサイクル2013MTB大会	88	6月9日
徳島県CA	第28回徳島吉野川センチュリーラン大会	309	10月13日
愛媛県CA	2013 愛媛センチュリーラン大会	190	9月8日
福岡県CA	第38回福岡県センチュリーラン大会	103	9月1日
福岡県CA	第23回志賀島チャレンジサイクリング大会	103	10月27日
佐賀県CA	佐賀センチュリーラン in 古湯温泉 2013 秋	134	9月15日
宮崎県CA	スカイライド宮崎 in 綾	39	11月23日
合計	14大会	1,917	

※23件の補助申請があったが、9件は補助対象外事業として開催した。

別表 3 特別普及奨励事業

実施日	実施場所	参加人員
蔵王ヒルクライム大会		
平成25年 5月18(土)～19日(日)	宮城県蔵王町	1,114名
シティサイクリング大会		
平成25年 9月22日(日)	都庁～港区お台場～神宮外苑	1,532名
Mt. Fujiエコサイクリング大会		
平成25年 9月7(土)～8日(日)	静岡県、山梨県富士山麓周辺	976名
耐久自転車競技大会		
平成25年 8月10日(土)	茨城県下妻市 筑波サーキット「コース2000」	138チーム・638名

別表 4 神宮外苑サイクリングコース運営事業

開催日	利用者数合計	貸出車	持込車	受講者数
4月計	5,485	2,271	3,214	351
5月計	8,471	5,007	3,464	637
6月計	5,035	3,095	1,940	403
7月計	3,944	1,971	1,973	298
8月計	1,884	871	1,013	125
9月計	5,825	2,271	3,554	404
10月計	3,982	2,129	1,853	372
11月計	4,450	2,392	2,058	345
12月計	4,243	2,303	1,940	375
1月計	2,123	961	1,162	246
2月計	1,546	650	896	171
3月計	3,198	1,616	1,582	354
25年度合計	50,186	25,537	24,649	※4,081

※受講者数は貸出車数の内数

別表 5 サイクリングジャパン発行状況表

号名	発行日	発行部数
2013夏号/No.474	平成25年 6月20日	25,000部
2013秋号/No.475	平成25年 9月20日	25,000部
2013冬号/No.476	平成25年12月20日	30,000部
2014春号/No.477	平成26年 3月20日	30,000部

(No.477は、競輪補助事業対象外)

別表 6 ブロック別会議開催状況表

ブロック名	開催日	開催地
北海道	平成26年 1月25日(土)～26日(日)	札幌市
東北	2月5日(火)	山形市
関東甲信越	2月22日(土)	品川区
中部日本	2月13日(木)	名古屋市
近畿	2月15日(土)	大阪市
中国・四国	2月18日(木)	高松市
九州	1月31日(金)	福岡市

別表 7 運営強化協力事業サイクリング大会関係表

大会名	開催日程	参加者数
第27回全日本マウンテンサイクリング in 乗鞍	平成25年 8月31日(土)～9月1日(日)	3,906名
第13回ツール・ド・美ヶ原高原自転車レース大会	平成25年 6月29日(土)～30日(日)	1,775名
時空の路ヒルクライム in 会津	平成25年 5月18(土)～19(日)	756名

別表 8 理事会、評議員会開催状況表

理事会			
開催回	日時	場所	議案
第1回	平成25年4月5日(金) 午後2時00分～ 午後3時00分	日本自転車会館 3号館4階会議室	第1号議案 業務執行理事の選定について 第2号議案 諸規程の改正(案)について その他
第2回	平成25年6月4日(火) 午後2時00分～ 午後4時00分	日本自転車会館 2号館8階会議室	第1号議案 平成24年度事業報告(案)について 第2号議案 平成24年度収支決算(案)について 第3号議案 規程の改正・制定(案)について 第4号議案 評議員会の開催(案)について その他
第3回	提案日 平成25年7月 18日(木)	決議の省略	第1号議案 代表理事及び業務執行理事の選任について 第2号議案 会長、副会長、専務理事、常務理事の選任について 第3号議案 特定資産の積立について

理事会			
開催回	日 時	場 所	議 案
第4回	提案日 平成25年9月 27日(金)	決議の省略	第1号議案 主たる事務所の所在地の変更について
第5回	提案日 平成25年11月 19日(火)	決議の省略	第1号議案 新会員制度の制定について
第6回	平成26年3月 17日(月) 午後1時00分～ 午後3時00分	自転車総合ビル 602会議室	第1号議案 特定資産の取り崩し(案)について 第2号議案 平成26年度事業計画(案)について 第3号議案 平成26年度収支予算(案)について 第4号議案 第2回評議員会(案)について その他 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況について
評議員会			
開催回	日 時	場 所	議 案/議 題
第1回	平成25年 6月 20日(木) 午後4時30分～ 午後6時00分	日本自転車会館 3号館4階会議 室	第1号議案 評議員会会長の互選について 第2号議案 平成24年度事業報告(案)について 第3号議案 平成24年度収支決算報告(案)について 第4号議案 次期理事・監事の選任(案)について 第5号議案 定款の変更(案)について そ の 他
第2回	提案日 平成26年3月1 8日(火)	決議の省略	第1号議案 平成26年度事業計画について 第2号議案 平成26年度収支予算について